

## 体力不要！ 知力で勝負！ トレイルOのススメ

トレイルOとは

インカレショート併設大会にオリエンティア 200 名以上参加（2003.11 栃木）！

トレイルO九州大会にオリエンテリング初心者 900 名以上参加（2003.9 長崎）！

ここ2年ほど急速にトレイルO（トレイルオリエンテリング）が日本国内で普及し始めています。

トレイルOは国際オリエンテリング連盟；IOFの掲げるオリエンテリング4種目；フットO、スキーO、マウンテンバイクO、トレイルOの1つです。この4種目は移動媒体により区分されており、トレイルOはトレイルすなわち道だけを進む種目で、他の3種目と比べて唯一体力的要素を問いません。公園・森林...例え500m四方のところでもOK、フットOと比較して地図調査の手間が少なくてもOK、また他に道具がなくてもOK、とトレイルOは気楽に運営・競技を楽しむことができます。



元々トレイルOは1980年代の終わりにスウェーデンで始まり、フットOのランナーのように森の中を走れない、移動面での障害をもつ人たちのために考え出されました。ですのでトレイルOのシンボルマークには車椅子マークがあります。今では障害の有無にかかわらず、性別・年齢別の区分も無く、参加者全員が平等な条件のもとでオリエンテリングの知的能力を競い合うという、魅力あるスポーツに変身しました。

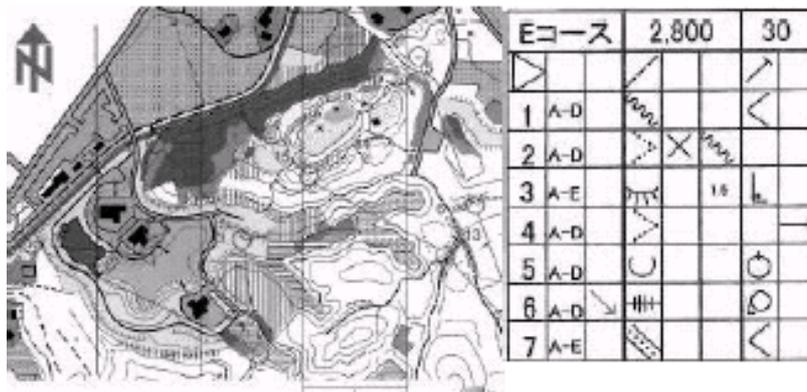
トレイルOの魅力とは？ ～その競技方法～

コース上に示されたコントロールを順番に回るのはフットOと同じですが、障害者も参加することから、フットOのように道を外れて森の中には入りません。

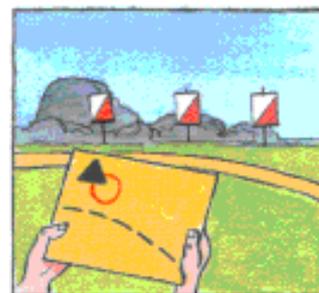
フットOではコントロールにあるフラッグは1つですが、トレイルOの場合は2～5個のフラッグ群が設置されています。複数のフラッグの中から、コントロールの円の中心にあって、位置説明と合致するフラッグはどれかを選び出します。コントロールから離れた小道上から地図を熟読し、地図と現地を照合します。

この地図読みがトレイルO最大のポイント！ 地形や特徴物を確認し、お互いの位置関係を判断し、あるいは距離を目測し、正しいひとつのフラッグに絞ってゆきます。点状特徴物の方角などトレイルO独特のコントロールの置き方；コツさえ覚えれば、あとはプランナーとの頭脳比べです。

概ねAクラス以上の上級コースでは、全部のフラッグの位置が正しくない「正解なし」があったり、コース上のある場所でいきなり渡された地図を読んで何秒で回答を出せるかという「タイム・コントロール」というのを設けたりします。やってみると意外と難しく、最近の大会を見てみるとようやく全コントロール正解が1人出るかどうか... 丁寧に緻密にあせらず地図を読むことがポイントとなります。



2002年8月のクラブカップに併催された国内大会唯一のエリートコース



トレイル0 エリートを目指して!? ~ インカレとトレイル0 ~

インカレとトレイル0 の関わりは2001年3月の愛知作手インカレで体験コースが設けられて以来です。2002年3月矢板インカレの体験コースを経て、2003年3月の愛知下山インカレで初めて一般併設大会の1コース(学生も参加可能)となりました。イベントとして集計された団体戦成績(上位2?名の成績を合計)は、全正解者2名の東工大がぶっちぎりました。2003年11月の矢板ICS前日大会は、参加者200名を越す盛り上がり。そして、今回2004年3月伊賀インカレでは学生併設大会の1つとして開催されます。

トレイル0には個人戦と団体戦があり、各部門で表彰致します。当日申込(学生クラス含む)も受付し、表彰対象となります。

いつかは障害者の大学生と勝負!

トレイル0には障害者・健常者が同じような条件でスポーツを楽しめるという側面があります(野外スポーツで健常者・障害者が平等に競い合える競技種目はまれだそうです)。障害を持つ学生達をオリエンテーリングに誘うことが出来たら...

今回のインカレが行われるお膝元名張市には社会福祉学部を持つ「皇學館大學」があり、そんな思いを込めてアプローチして見ました。残念ながら2004年1月現在、障害を持つ学生がインカレへ参加する見込みは立っていませんが、近い将来、障害者の学生オリエンティアが誕生し健常者と競い合う日が来るかも?しれません。